

(様式1) 学校評価

<評価:A(1・2) B(3) C(4・5) 数字はアンケート結果を加味する場合>

項目	重点目標 (○:市の重点目標 ◇:学校の重点目標)	キーワード	取組状況・成果・課題	評価	改善策	学校運営協議会委員(評価者)の 意見等	
学校運営	教育課程	○特色のある教育課程を工夫するとともに、PDCAサイクルを意識し、評価改善に努める。 ◇PDCAサイクルを生かし、社会に開かれた教育課程の実現に努める。	カリキュラムマネジメント PDCAサイクル 社会に開かれた教育課程 教科等横断的な視点	・感染症対策をしながら、学習の質的、量的な確保に努めた。 ・学校評価を通して、今年度の指導の重点について改善を加え実施することができた。	A	・感染症対策を講じながら、行事の精選や実施方法について検討し、実施する。 ・引き続き学びの質的・量的確保に努める。 ・地域連携活動を教育課程に位置付け、継続が可能な活動の年間指導計画を作成する。	・コロナ禍にあって、中止や縮小が求められる中ではあるが、生徒のやりたいことを実現していく工夫にも取り組んでほしい。 ・特色のある活動として地域資源の活用について、地域と連携して取り組んでいきたい。
	組織運営	○校務のバランスを考えた人材配置に努める。 ◇研修の充実を図り、教師力の向上に努める。	適材適所 研修の充実 働き方改革	・現職教育での研修が充実し、特に学校課題研修については、教員の指導力向上につながった。 ・生徒指導等において、全職員での対応が意識づけられ、組織的な指導ができた。 ・働き方改革推進委員会を組織し、業務改善について検討した。	A	・研修については、今後も学校の実態に応じた実のある研修の実施に努める。 ・働き方改革推進委員会を通して、業務改善の推進を図る。	・教職員の雰囲気がとてもよいように感じる。その雰囲気が生徒に伝わると思う。
	環境整備	○◇校内外の整理整頓、環境整備に努める。	施設利用 安全点検 教室配置	・毎月、安全点検、環境衛生検査を実施し、校内の環境整備に努めた。 ・感染症対策に係る器具(自動検温器、消毒等)の整備をし、徹底に努めた。	B	・次年度の教室配置(特別支援教室等)について検討する。 ・電子黒板やモニターが各学年、特別教室等に配置されたので、有効活用に努める。	・今後も継続した取り組みをお願いしたい。
	地域連携	○地域連携教員を要として、地域とともにある学校づくりに努める。 ◇地域連携教員を要として、各教育活動においてねらいの達成に効果的な地域資源の活用に努める。	地域とともにある学校 コミュニティ・スクール 地域コーディネーター	・新規事業を含めて、地域連携活動の充実を図ることができた。 ・地域連携教員だけでなく、複数の教職員のアイデアを生かした活動ができた。	A	・地域に協力を求めるだけでなく、学校から地域に発信する活動など、双方向性のある地域連携活動を工夫する。 ・生徒の教育的効果の観点から、各種の地域連携活動を検証改善する。	・学校と連携して、地域の良さを知り、地域の人との関わりの中で生徒を育てていく環境づくりをしていきたい。そのためにも、地域連携活動を活性化していく。

知の教育	学習指導・各教科等	○学ぶ意欲を引き出し、主体的に学ぶ児童生徒の育成に努める。 ◇主体的に学びに向かう生徒の育成に努める。	主体的・対話的・深い学び	・授業研究会や相互授業参観を通して指導力の向上に努めた。 ・各教科において、生活や社会とのつながりを考えた教材の工夫に努め、学習への意欲を引き出す一助とした。	B	・今後も学校課題に関する研修を実施し、教科部会、相互授業参観等を通して授業力の向上に努める。 ・生徒の学ぶ意欲を引き出すための教材、指導法の研究を進め、主体的に学ぶ生徒の育成に努める。	・コロナ禍で活動の制限があるだろうけれど、アクティブラーニングなど、生徒同士が教え合いながら学習する形態も有効に取り入れてほしい。 ・学校公開などで生徒の学習の様子を見る機会をつくっていく。
	情報教育	○一人一台の情報端末の有効活用に努める。 ◇ICTを有効活用し、情報活用能力と情報モラルの育成に努める。	プログラミング教育 情報活用能力	・ICT研修を通して、端末を活用した授業や学習指導の方法について研究することができ、実践できた。 ・調べ学習や教材の提示など、有効に活用する場面が増えた。	B	・使用を目的とするのではなく、ノート、ワークシート等、これまでの指導法とのより効果的な活用法についてさらに研修を進める。 ・情報モラルや情報リテラシーなどの育成に努める。	・一人一台の学習端末の有効な活用について取りくんでほしい。
	国際理解教育	○英語に触れ、世界を学ぶことで、豊かなコミュニケーション能力の育成に努める。 ◇各教育活動をととして、SDGsについての理解を深める。	SDGs 異文化理解 英語コミュニケーション	・英語科では、教科書から発展させたり、ALTを通したりして異文化理解に努めた。 ・委員会活動を中心としたSDGsの普及を促進できた。教科の中でも取り上げる場面が増えた。	B	・生徒の日常と結びつけ、今後もさらに広げていく。	・英語科を中心に、今後も英語に触れる機会をつくってほしい。
心の教育	児童・生徒指導	○自己指導能力の育成を図り、課題を解決できる児童生徒の育成に努める。 ◇「居心地のよい学校」をめざし、生徒の自己指導能力の育成に努める。	いじめ 不登校 自己指導能力 キャリア教育	・生徒指導に関する情報共有(報告・連絡・相談・確認)を徹底したことによって、適切な対応ができた。 ・生徒に問いかける指導を行うことで、生徒自ら考える時間をもたせた。善悪の判断ができ、自分で考えることができるようになってきた。	A	・教育相談機能を生かし、生徒に寄り添った支援を心がける。 ・情報共有する時間や方法をさらに工夫していく。 ・「生徒心得」を生徒と共に修正・改善していく。	・不登校生徒への対応がすばらしい。丁寧に対応していることが伝わってくる。 ・地域の教育力を生かし、社会の中で生徒を認める活動を取り入れ、生徒の自己肯定感を高めていくことが大切だと思う。
	特別支援教育	○共生社会に向け、自分の意見を持ち、他者の意見を認め合う雰囲気づくりに努める。 ◇一人一人の教育的ニーズを把握し、必要な支援や適切な指導に努める。	インクルーシブ ユニバーサルデザイン 合理的配慮 自立活動	・一人一人の課題を明確にして個別の教育支援計画を作成し、よいところを伸ばしながら様々な手立てを考え支援に努めた。	A	・関係機関との連携に努め、全校体制で個に応じた支援に努めていく。	・プラスの言葉かけで、良さを認め、個に応じた支援をお願いしたい。

命の教育	健康教育	<p>○自分の健康を管理し、健やかに生活する児童生徒の育成に努める。 ◇健康の自己管理を行い、主体的に心身の健康の保持増進ができる生徒の育成に努める。</p>	保健教育 保健管理	<p>・感染症予防対策(健康チェックシートの記入、昇降口での検温等)を実施することで、自分の健康管理についての意識が向上している。 ・学校保健委員会は、テーマに沿った学校三師の講話をいただき研修した。</p>	A	<p>・主体的に自分から健康管理ができるよう、さらに啓発していく。</p>	<p>・感染症対策は、今後も引き続き徹底をお願いしたい。生徒の意識を高め、保護者への協力も得て今後も安全な学校づくりに努めてほしい。</p>
	安全教育	<p>○危機意識を高め、安全な生活について判断・実践できる児童生徒の育成に努める。 ◇自らの危険を予測し回避でき、健康で安全な生活を送ることができる生徒の育成に努める。</p>	危機管理 生活・交通・災害安全	<p>・安全点検を実施し、未然防止、早期発見に努めた。 ・バス集会、自転車集会を実施し、安全について呼びかけをおこなった。</p>	A	<p>・安全点検は、生徒の目線での点検も行えるよう工夫する。 ・バス乗車のマナーについて、継続的な指導を行う。</p>	<p>・命の関わることは、最優先であるべき。今後も指導をお願いしたい。</p>
	食に関する指導	<p>○食への関心を高め、健康維持に励む児童生徒の育成に努める。 ◇食に関する指導の推進に努める。</p>	給食管理 アレルギー	<p>・給食の残量調査をグラフ化し、生徒に問題意識をもたせた。 ・家庭科、保健体育科などの教科指導で、健康と食に関わる指導を行った。</p>	B	<p>・アレルギー対応でエピペンの使い方やAEDの使い方等の研修を実施する。</p>	<p>・エピペンの使用方法や救命講習などは、専門の外部講師を招いての講習会を実施してはどうか。 ・食に関する指導も「命」をいただくという観点から指導をするとよいと思う。</p>